

第 17 回 宮崎県作業療法学会 閉会報告

令和 4 年 12 月吉日
学会長 堀江 桃子

第 17 回宮崎県作業療法学会を盛会のうちに閉会したことを報告致します。

今年は宮崎県学会初のハイブリット方式（現地開催と Live 配信）・オンデマンド配信で実施しました。多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

特別企画では、機器のトラブル・動画配信状況の確認不足などがあり、参加者の皆様にはご不便をおかけしてしまいましたが、初の試みを行ったことで得られたことも多くありました。今回得られたことを今後の学会発展に役立てていきたいと思っております。

また、師走を迎えたご多忙の中、ご出席下さいました先生方、講演を引き受けて下さりました菊入先生、丁子先生、岩永先生、松浦先生そして、貴重な研究成果を発表いただきました演者の先生方、査読や座長を引き受けて頂いた先生方、深く感謝致しております。皆さまのご協力、ご指導ご鞭撻があり、実りの多い学会となりました。

学会テーマ『自己実現 ～個々の健康と幸福な生活の持続～』の通り、対象者が望む生活を実現するための作業療法とは何か、地域共生社会の実現に向け作業療法士がどのような貢献ができるのか、共に考える機会を、学会プログラムを通して得る事が出来ました。本学会が、近年の作業療法を取り巻く厳しい環境の中で、より価値のある作業療法を選択するための一助になれば幸いです。

来年はより多くの皆様にお会いできること、宮崎県作業療法士会が熱く勢いのある組織になる事を切に願っております。